

2024年度

コバトン保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月14日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちを受容し、寄り添い、子どもにとっての最善の利益となる保育を全職員で同じ姿勢で行えるようにした。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの成長、発達に応じた環境設定を整えられるように毎日の屋令にて情報交換を行い、職員間で連携を取り、子どもにとって最適な援助ができるようにしていく。
保護者に対する支援	送迎の際に、その日の園での様子や出来事を伝えられるように心がけ、保護者から家庭での様子を聞きながら子どもの様子を共有できるように努めた。
保育を支える組織的基盤	全職員が主体的に発信できる環境、関係を職員会議、職場研修で実践しスキルアップを図っている。年齢を問わず、気付いたことを話することで柔軟に対応し保育の質の向上につながっている。

総評
園の保育理念や保育方針を理解し、今年度は0.1.2歳児の発達について取り組んだ。基本となる脳・身体の育ちを基に、それに伴う五領域の発達を資料を参考にしながら確認した。担当しているクラスだけではなく実際の子ども達の発達をとらえながら実践に繋がったり、どの様な援助をすることで、促された発達への経験を話し合うことができ、自身の保育スキルの向上に繋げることができた。学びから知識が増えることで疑問が湧き、調べたりマニュアルを見直す機会にもつながった。